

# Unison ユニゾン

No.40 令和8年6月発行

Unisonとは、音楽用語で一つの旋律を複数の人が歌ったり、様々な楽器で演奏することを意味することから、すべての人が性にとらわれず、同じ立場で意見を主張できる社会の実現を願って名付けました。

### ★もくじ★

女性インタビュー／男女共同参画週間について	1
第5次八潮市男女共同参画プランの策定について	2
男女共同参画推進活動委託事業／フェムテックについて	3
募集・お知らせ・相談について	4

編集・発行 八潮市企画財政部人権・男女共同参画課  
〒340-8588 埼玉県八潮市中央1-2-1

Tel 048-996-2111(☎内811)

Fax 048-995-7367

Mail jinken-danjo@city.yashio.lg.jp

URL https://www.city.yashio.lg.jp/



## 「私」らしい音楽を、貫く。



木村 美智子  
Kimura Michiko



アーティスト名「MIKKO」。

自身も現役のロックボーカリストであり、現在も月に2～3本のライブでステージに立つ。市内でボイストレーナーとして活躍中であり、また令和6年から地域の要望により、ゴスペル教室を開講。市内のイベントなどで活躍中。その他デザイナー、動画編集を請け負うなど、マルチに勢力的活動を続けるその「原点」を取材しました。



木村さんがバンドボーカルを務める「スセリtradition」のライブ写真。

**Q1** 木村さんご自身、マルチに活動されていますが、ズバリその原動力は何でしょうか？

**A** 私の原動力はライブです。ジャンルもロックなので、魂のまま叫べるといところが一番の心身ともに健康になれる秘訣です。あとは、人を輝かせることが好きなので、私が背中を押した人が元気になると、私も生きる糧を得られます！

**Q2** 木村さんにとって『音楽』とはどのような存在でしょうか？

**A** 歌い始めたのが15歳の頃です。それから35年歌は常に人生の中心にあり、私を最も苦しめたのも歌でした。だからこそ、長く根性で向き合ってきたところもあるので、今は誰にも負けない歌への愛を持っています。長く向き合ったからこそその歌も歌えていると思います。

**Q3** 活動をしていく中で、ツライ、しんどい時、壁に直面した時、どのように乗り越えてきましたか？

**A** とにかくポジティブに自分を信じる、ということが一番に考えるようにしています。これ以上落ちることはない、あとは上がるのみ！といった感じに(笑)

**✉** 新しいことに挑戦しようとしている方々へ、メッセージをお願いします！

**A** 私がフリーランスになったのは4年前ですが、これまで培ってきた、好きと得意(主に、歌とデザイン)を今は仕事にしています。はじめは、かなり不安はありましたが、好きや得意なことには情熱を注げるものなので、怯むことなく、どんどん挑戦するべきだと思います。意外にやってみることで自分の才能に気付いたりするので、まずはとにかくやってみる！！これに尽きると思います！



『長年生活をしてきた八潮を歌で、音楽で、地域の人たちも元気にしていきたい、歌でこの街をもっともっと元気に明るくしていきたい』と木村さん

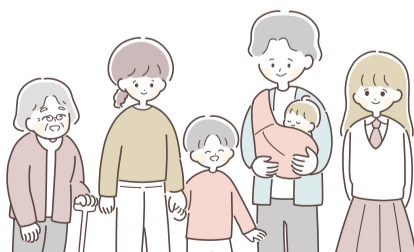
木村さん率いるゴスペル教室のメンバーで結成された「vivity Gospel Choir」の公演前の様子。笑顔がステキです

木村さん、ありがとうございました。  
今後のますますのご活躍期待しています！

### 令和8年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

## あなたらしさが、社会のチカラ

内閣府において、こども家庭庁の「こども若者★いけんぶらす」を活用し、中学生から20代の皆さんと一緒にキャッチフレーズを考え、上記のものが決定しました。



内閣府男女共同参画週間ポスター

# 第5次八潮市男女共同参画プラン がスタートしました!

**八潮市男女共同参画プラン** は、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする計画で、市の男女共同参画の推進を行うための計画となっています。

市の男女共同参画を推進するため、関係部署や他の行政機関などと協力しながら、各事業に取り組んでいきます。

本編・概要版は



こちらから▲



## 基本理念

自分らしく幸せに生きる・育む・働く・活躍できる八潮を目指して

### 新プランは 3 本柱

#### 基本目標1

ジェンダー平等なまち八潮をつくりまします!



#### 主な目標

- 1 男女共同参画・ジェンダー平等の意識啓発をします。
- 2 さまざまな場における男女共同参画の推進をします。



#### 基本目標2

みんなが輝き・働けるまち八潮をつくりまします!



#### 主な目標

- 1 女性が活躍する場を拡大します。
- 2 みんなが働きやすい環境づくりを推進します。
- 3 男女が協力してワーク・ライフ・バランスを実現します。



#### 基本目標3

誰もが安全・安心に暮らせるやさしいまち八潮をつくりまします!



#### 主な目標

- 1 ジェンダーに基づく暴力を防止します。
- 2 誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指します。
- 3 生涯にわたる健康づくりへの支援をします。
- 4 防災分野における男女共同参画の推進をします。



※本プランでは「八潮市女性活躍推進計画」、「八潮市DV防止等基本計画」、「八潮市困難女性支援基本計画」を包括しています。

## 策定からみえてきた本市の現状

### 各種統計データから

市の人口は増加傾向にあり、特に若い世代で大きな人口流入がみられ、単独世帯が増加しています。



### 市民・職員ワークショップから



家庭では、家事、育児負担の女性への偏りの解消と男性の家事、育児参画の一層の促進が重要です。

### 市民意識調査から

性別にとらわれず多様な生き方をするために「仕事と家庭を両立するための環境」を重視する人が多い状況です。



### 第5次からの数値目標

基本目標	指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和17年度)
1	市民意識調査における「固定的性別役割分担意識」に同感しないと考える割合	78.6%	85.0%
	人権に関する研修会の参加者数	997人	1,200人
	市民大学・大学院延べ卒業生	487人	600人
2	市民意識調査における家庭生活で平等と感じる市民の割合	36.3%	50.0%
	市の施策に関わる審議会等における、女性委員の割合	33.8%	40.0%
	女性人材リストの登録人数	28人	100人
	市職員における副課長級以上の女性管理職の割合	16.8%	30.0%
	家族経営協定 締結戸数	19戸	19戸を維持
	若年者職業相談の相談件数	8件	30件
	労働に関するセミナーの開催回数	年1回	年1回以上
3	就業条件・環境の整備に関する情報提供	年2回	年2回以上
	「女性相談」を2回以上継続して相談した者の割合	60.5%	75.0%
	生活習慣病予防講座等の各種講座の参加者数	—	2,500人

## 令和7年度男女共同参画

### 推進活動事業委託の報告

本市では、市内で活躍する団体に、「男女共同参画を推進する事業」を委託しています。令和7年度は11月29日(土)に庁舎2階サークル広場にて「快適育児おうえん隊」による「いきいきマルシェ」が開催され、約300人が来場し賑わいました。



#### 内容

「子育てを応援してくれるヒト、モノ、コトに会おう1日」と題して、親子エクササイズや抱っこ講座などの各種講座の開催や物販、ワークショップを実施しました。

#### 実施の効果

- ・今後、子育て支援に関わる方や、子育てしながら事業展開を検討している方々に、学びと実施へのステップとなる場を創出することができました。
- ・参加者からは、「同じ悩みを共有できて安心した」、「地域に仲間がいると感じられた」といった声が寄せられ、孤立しがちな子育て世帯の不安軽減にもつながる効果がみられました。



楽しい1日が始まる予感🐾



マッサージで気分リフレッシュ!



おそろいのアクセサリーゲット★

### 令和8年度の実施団体を募集しています!

市内で活動する団体に、「男女共同参画を推進する」イベントや講演会、研修会などを行っていただくための事業に係る経費(上限5万円)を助成しています。事業の委託には審査があります。(8月末日締切)詳しくは、市ホームページをご覧ください。



### 注目のキーワード!

## 『フェムテック』とは?

Female × Technology

**フェムテック**とは、「Female(女性)」と「Technology(技術)」の造語で、生理や更年期など女性特有の悩みを先進的な技術で解決することを指します。また、政府の女性活躍・男女共同参画の重点方針2025(女性版骨太の方針2025)にも、フェムテックの推進、利活用などが明記されています。

#### なぜ、フェムテックは重要?

女性特有の健康課題(生理、更年期など)は、日常生活や仕事に大きな影響を与えることがあります。フェムテックの活用によって、それらを解決することは、女性が自分らしく生きられる社会につながり、生活の質を向上させる効果があります。



### フェムテック商品・サービス例

- ・オンライン診療、処方
- ・月経管理、妊活、更年期サポートアプリなどがあります。



下記の募集・お知らせ・相談について、詳しくは市ホームページをご覧ください。



### 募集

「女性人材リスト」にご登録いただける女性を募集

誰もが暮らしやすい地域を創るためには、多様な意見が必要です。そのため、審議会などの委員となったださる方の「女性人材リスト」を作成しています。子育てや仕事がひと段落ついた方、市の施策に興味をお持ちの方など、ぜひ、ご登録をお願いします。(登録された方全員が審議会委員に選考されるものではありません。)

「地域で豊かに! グループ名簿」登録団体を募集

男女共同参画の趣旨に賛同していただける団体を応援するため、年1回、会員募集のチラシを作成して、市ホームページや市内公共施設へ配布しています。現在、掲載を希望する団体を募集しています。(今年度掲載ご希望の団体は8月末日までに申請願います。)



### お知らせ

男女共同参画苦情処理制度

男女共同参画に関する市の施策や男女共同参画を妨げる事案に対する市民や事業者からの苦情の申し出を、公平・中立な立場で処理する機関を設置しています。苦情処理委員は弁護士と大学教授の2名で構成され、申し出の内容について調査を行い、その結果、必要があると認めるときは関係者に対し、助言、勧告、是正の要望などを行います。



### 相談

八潮市女性相談室

女性相談室は、女性のための相談室です。夫婦のこと、家族のこと、生き方などetc...、お友達には相談しにくいことってありますよね。ひとりで悩まないで相談してみませんか? 臨床心理士やカウンセラーの資格を持つ女性相談支援員があなたの悩みに寄り添います。秘密は守ります。

場所：八潮駅前出張所内相談室  
相談日：毎週火・水・木曜日 1日4枠、予約制  
①午前10時15分～11時15分  
②午前11時30分～午後0時30分  
③午後1時30分～2時30分  
④午後2時45分～3時45分  
予約：こども家庭支援課 048-933-9437

八潮市DV相談支援室

DV相談支援室では、DV(ドメスティック・バイオレンス=夫婦や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力)に関する相談をお受けしています。DVは、支配する側とされる側の関係性で起き、殴る蹴るなどの身体的暴力の他、暴言や脅迫などの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力、性行為の強要などの性的暴力など多岐にわたります。これってDV?と感じたら、少しでも早く相談しましょう。

場所：こども家庭支援課  
相談日：月・金曜日 午前10時～正午、午後1時～4時  
相談専用電話：048-996-3955  
※面接相談をご希望の方は、予約が必要です。

八潮市家庭児童相談室

家庭児童相談室では、18歳未満のお子さんに関する悩みごと、親と子の関わりなどの相談をお受けします。育児について相談できる人が身近にいないなどのお悩みにも家庭児童相談員がお話を伺い、より良い解決について一緒に考えます。



場所：こども家庭支援課  
相談日：毎週月～金曜日 午前9時～正午、午後1時～4時  
問い合わせ：048-951-5457  
※電話・面談どちらでも相談可能。予約の必要はありませんが、他の方の相談中はお待たせすることがあります。

## 相談室だより

一人で悩まず相談を

これから来る夏。解放的な季節に、冷房のきいた部屋で暑さをしのげなければならぬのは残念ですね。気持ちもイライラしがちです。そんな時に、一緒に暮らす子どもやパートナーとコミュニケーションがうまくいかないと、喧嘩になったり無視したりするようになり、家の中がイヤな空気になりますね。また、一人暮らしの方は外に出ないと増々誰とも話さないことが続いたりして、気分がめいってきます。

そんな中で特に最近多いのがモラルハラスメントのご相談です。コミュニケーションがとれない、話しかけても無視される、一方的に命令される、単独行動が多いなど、精神的DV・モラハラではないかと。しかしお話をよくきくと、そこに意地悪や悪意でやっているとは思えないことがあります。DVで繰り返される蓄積期・爆発期・ハネムーン期とは違う行動パターンです。察するに、発達障がいや予想されることがあります。発達障がいがある場合、人間関係が苦手、社会性が乏しい、コミュニケーションが苦

手なため、結果そうした行動パターンになっているだけで、本人が自覚でき、周囲もそれを認めお互いにかかわり方を学ぶことができ、実践できればそれなりにうまく暮らすことができなくはありません。ただ本人も周囲も、それを認めることに抵抗が大きい場合もあります。「障がい」ときいただけで否定したくなる人もいます。逆に「障がい」なら諦めるしかないと思う人もいます。理性的には分かっても、暮らしの中で予期せぬことが毎日起きたらそれはなかなか大変です。そんな時には、一人で悩まずに相談に来てください。家族のことを他人に話すのはどうか?と思うことはありません。女性の悩みの大半は家族のことです。相談室に来て話すだけでも、気持ちが軽くなるかもしれません。そして一緒に考えることができます。秘密は厳守されますので、安心して相談に来てください。お待ちしております。(女性相談支援員)

問い合わせ：こども家庭支援課 048-933-9437